

もっと自由に、
もっと楽しく...

のびやか子育て 3つのアドバイス

茨木市が行った「男女がともにつくるまちづくり市民意識調査」の結果から、子育てをもっと楽しくするためのヒントを探ります。

アドバイス 1

子どもも保護者も、泣いていい

市民意識調査の結果では、「男だから」「女だから」と言われて、いやな気持ちをしている子どもが3割近く。男の子の場合、特に「男だから、泣いたらダメ」とよく言われるようです。でも、女の子にとっても男の子にとっても、感情を素直に表現するのは大切なことなんです。

*** データ / 「男だから、泣いたらダメ」? ***

■「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた時の気持ち (小学生)



■「男だから〇〇」や「女だから〇〇」と言われた原因 (小学生、上位3位)

- 女子**
- 1位 ことばづかい
 - 2位 整理整頓
 - 3位 すわり方

- 男子**
- 1位 泣いたとき
 - 2位 スポーツ
 - 3位 勉強

アドバイス 2

夫婦で子育てをわかち合おう

市民意識調査の結果では、子どもの世話を毎日・毎回しているのは圧倒的に母親が多く、父親はほとんど関わっていません。これからは、今、注目の「イクメン」(子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性)をめざしてみませんか。

*** データ / まだまだ不足している父親の関わり ***

■子どもの世話を^{ひんど}する頻度 (毎日・毎回する)

